平成３１年４月１９日

第２回「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西」
京都市実行委員会総会を開催しました

「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西」京都市実行委員会では，平成３１年３月２２日（金）に，第２回総会を開催し，会長の門川京都市長をはじめ，競技団体や報道機関等から委員３３名（代理出席者含む）に出席いただきました。

総会の冒頭では，同年３月２０日の組織委員会理事会において，新たに京都市での開催が決定したダブルダッチのプロチーム「ニュートラッド」の皆様によるパフォーマンスで，会場がおおいに盛り上がりました！

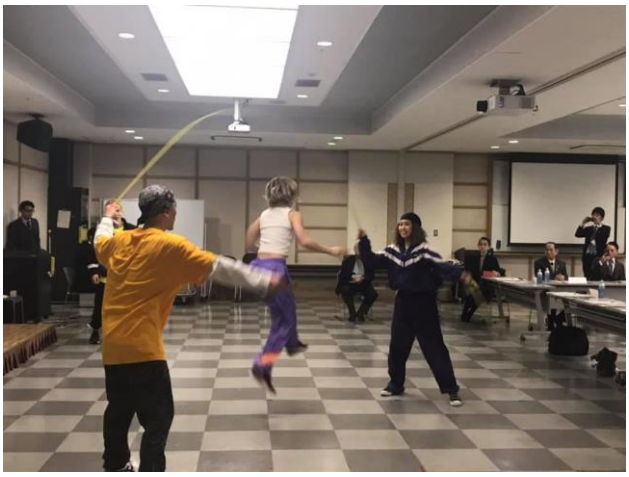
また，当日の議事では「開会式コンセプト及びキャッチコピー京都市案」等について御審議いただき，開会式コンセプト及びキャッチコピーの京都市案は次のとおり，決定しました。

開会式コンセプト（案）
日本の伝統と文化が感じられる京都から，市民力を生かしたおもてなしによる祝祭感と，史上初の広域開催として関西全体の一体感を創出し，大会の幕開けにふさわしい開会式

開会式キャッチコピー（案）
【日本語】はじまりは京都から　～スポーツで健康に，人生を楽しもう～
【英　語】Kyoto, where all things start ～Love Sport, Live Well, Enjoy Life～

他にも，大会の広報等について，報道機関，観光協会，行政の委員の皆様から，「大会への参加意欲が湧くような仕掛けを検討するべき」「ＳＮＳを活用した若い人へのＰＲも大切であること」「海外の旅行会社を活用した積極的な情報発信」など，大会の更なる機運醸成のため，力強い御意見をいただきました。

第２回総会の様子


ダブルダッチのパフォーマンス

（門川会長あいさつ）

京都から始まるワールドマスターズゲームズ２０２１関西では，岡崎エリア一帯での開会式の翌日に葵祭が開催される。

ワールドマスターズゲームズはスポーツだけでなく，その国や都市の文化も楽しむものであり，京都らしい開会式としていきたい。

また，重要なのが広報である

認知度がまだまだ低いため，あらゆる場面で「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西ＪＡＰＡＮ」を発信していかなければならない。

記念すべき第１０回大会，アジア初開催，東京オリパラよりも３倍の選手が参加する。

そういった魅力を発信するとともに，健康長寿の取組と融合させ，生活，地域の中にスポーツを取り入れていきたい。

そして，国連が２０１９年に採択したすべての人に健康と福祉，すべての人に質の高い教育「１７の目標であるＳＤＧｓ」の考えは，ワールドマスターズゲームズと一致するものである。

以上のことを踏まえて，オール京都で大会の準備に取り組んでいきたい。

門川会長のあいさつ

実行委員会制作のＰＲポスター

【各委員からの意見】

（株式会社京都新聞社　山内委員）

ワールドマスターズゲームズについては，市民側からどのように関わってもらうのか考えるべきである。市民も大会について他人事という意識が強い。

オリンピック・パラリンピックの終了後，いかにワールドマスターズゲームズに雰囲気を切り替えるかである。

また，市民にとって他人事の大会とならないためにも，大会への参加意欲が湧くような仕掛けが大切である。

地元メディアとしても，実行委員会と連携のうえ，引き続き協力させていただく。

（株式会社京都放送　細井委員）

ワールドマスターズゲームズは，３０歳以上なら誰でも参加できる大会であるが，どのような人達が参加しているのか映像があれば，京都市民の参加の促進に繋がり，また，大会の理解も深まる。

そのため，ワールドマスターズゲームズ２０２１関西のエントリーのタイミングで，どのような大会なのか市民に向けて発信すべきである。

今後，実行委員会と連携して，大会の情報発信を行っていきたい。

（株式会社エフエム京都　杉本委員）

ワールドマスターズゲームズ２０２１関西の広報展開の際に重要となるのが「いつ，誰に，何をＰＲするのか」であり，メリハリを意識した広報が大切である。

そのうえで，広報展開で重要なことを３点述べさせていただく。

１点目は，有料で何を告知するのか。無料で何を告知するのかである。

２点目は，ターゲットである。

３点目は，時期である。

以上のことを意識して，ワールドマスターズゲームズ２０２１関西大会をチャンスとして捉え，オール京都の体制でＰＲすることが大切である。

（株式会社ジェイコムウエスト京都みやびじょん局　牧野委員）

ワールドマスターズゲームズ２０２１関西の課題は，大会の認知度をどのように向上させるのかである。

大会の認知度の向上のためには，若い人の口コミの力は欠かせない。

大会自体が分かりにくいため，分かりやすいコンセプトなどを考えたうえで，ＳＮＳを活用していくべきである。

ワールドマスターズゲームズ２０２１関西についても大会まで日数はあるので，ＳＮＳを活用していくべきである。

（京都市観光政策監　糟谷委員）

ワールドマスターズゲームズについては，過去大会から，オーストラリア，カナダ，アメリカからの参加者が多く，これらの国々に対する情報発信が大切である。

他にも，２０２１年の関西大会は，アジア初開催であり，アジアからも参加者を多く呼び込むため，上海などの地域へも情報発信すべきである。

今年は，ラグビーワールドカップの年であるが，その開催期間にあわせ，市内の商店街，飲食店，小売店等と連携して，訪日外国人を対象としたキャンペーンを実施するほか，期間限定の体験型メニューの提供など，おもてなしキャンペーンを実施する。

来年は，東京オリンピック・パラリンピックの年であり，再来年に開催されるワールドマスターズゲームズ２０２１関西の時には，ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックで積み上げたノウハウを生かし，事業者や市民とともに関西大会を盛り上げていきたい。

（公益財団法人京都市観光協会　代理出席：高畑専務理事）

ワールドマスターズゲームズ２０２１関西については，東京２０２０オリンピック・パラリンピックと比較して，およそ３倍の数にのぼる選手が参加する。入洛客も期待できる。

観光協会としても，全国に発信している印刷物に「大会ロゴマーク」や「スフラのイラスト」を載せるなど，認知度向上に繋げていきたい。

大会マスコット「スフラ」
～Sport for Life～